

平成20年度科学技術関係施策 および重点事項について(案)

平成19年7月30日
厚生労働省

厚生労働省の科学技術研究の推進の基本的考え方

(参考) 平成19年度
 科学技術関係予算 1315億円
 うち 厚生労働科学研究費補助金 428億円

- (1)生活習慣病対策とこころの健康の推進 47億円 ※
- (2)がん予防・診断・治療法の開発 62億円 ※
- (3)生涯を通じた女性の健康の向上・次世代育成 7億円 ※
- (4)介護予防の推進 14億円 ※
- (5)免疫・アレルギー疾患の克服 13億円 ※
- (6)障害・難病等のQOL向上 33億円 ※
- (7)臨床研究の推進

- (1) 先端医療実現のための基盤技術の開発 89億円 ※
- (2) 臨床研究（治験）基盤の整備の推進 41億円 ※

健康安心の推進
 (健康寿命の延伸)

先端医療の実現

安全・安心で
 質の高い健康
 生活を実現

健康安全の確保

基本計画に
 基づき施策
 を推進

第3期科学技術基本計画 分野別推進戦略

■戦略重点科学技術

「臨床研究・臨床への橋渡し研究」
 「標的治療等の革新的がん医療技術」
 「新興・再興感染症克服科学技術」 など

■研究開発の推進方策

「臨床研究推進のための体制整備」
 「安全の確保のためのライフサイエンスの推進」 など

厚労省が主体的に取り組むべき分野の研究及び体制整備の一層の充実を図る。

理念の
 実現、
 戦略の
 推進、
 に
 貢献

- (1)新興・再興感染症対策等の充実 59億円※
- (2)食の安全の確保 15億円※
- (3)健康危機管理対策の充実 6億円※
- (4)医療等の安全の確保 33億円※

※ 予算額は全て平成19年度のもの

平成20年度の科学技術関係施策の新たな動向について

イノベーション25

イノベーションで
つくる日本の未来

特徴

- 2025年までを見据えた20年にわたる長期戦略
- 「社会システム」と「科学技術」の一体的戦略
- 世界のリーダーの一員としての戦略

施策

- 社会システムの改革戦略
- 技術革新ロードマップ

● 2025年の日本の姿

- ・ 生涯健康な社会
- ・ 安全・安心な社会
- ・ 多様な人生を送れる社会
- ・ 世界的課題解決に貢献する社会
- ・ 世界に開かれた社会

・ 社会還元加速プロジェクト

イノベーションを実感できる
ような、官民共同、府省融合
による実証プロジェクト

・ 分野別の戦略的な研究開発

ライフサイエンス、ナノテクノ
ロジーなど分野毎に研究開発ロー
ドマップを策定し、戦略的に推進

→ 人口減少下でもイノベーションで持続的成長と豊かな社会を実現

革新的医薬品医療機器創出のための 5か年戦略

世界最高水準の医薬品・医療機器を国民に提供

- 研究資金の集中投入
- ベンチャー企業育成等
- 臨床研究・治験環境の整備
- アジアとの連携
- 審査の迅速化・質の向上
- イノベーションの適切な評価
- 官民対話

革新的医薬品・医療機器の創出

- 世界最高水準の医薬品・医療機器を国民に提供
- 医薬品・医療機器産業を日本の成長牽引役に

新健康フロンティア戦略

健康寿命の延伸に向けた戦略

○ 国民自らが行う健康対策

子供の健康力

例) 子どもの心身の健やかな育ちを社会が継続的に支えるための研究

女性の健康力

例) 乳がん検診の有効性に関する研究

がん克服力

例) がんの罹患率及び死亡率の激減を目指すトランスレーショナルリサーチ

介護予防力

例) 高齢者に特徴的な疾病・障害の予防、診断及び治療並びにリハビリテーションについての研究

メタボリックシンドローム克服力、こころの健康力 歯の健康力 等

○ 戦略を支援する家庭・地域・技術・産業

人間活動領域拡張力

研究開発力 等

健康国家
への挑戦

平成20年度の科学技術関係施策を踏まえた厚生労働省の取り組み

イノベーション25の技術革新戦略の推進

社会還元を加速するプロジェクトの推進

- 例)・失われた人体機能を補助・再生する医療の実現
- ・高齢者・有病者・障害者への先進的な在宅医療・介護の実現

分野別の戦略的な研究開発の推進

- 例)・治験を含む新規医療開発型の臨床研究
- ・生活環境・習慣と遺伝の相互関係に基づいた疾患解明及び予防から創薬までの研究開発

新健康フロンティア戦略を支える科学技術

人間活動能力拡張力

- 例)・福祉機器など障害者の社会参加を容易にする技術等、生活拡張技術の開発

研究開発力

- 例)・医薬等ベンチャー・基盤産業支援対策、実用化における臨床現場と産学の融合推進

5か年戦略による医薬品・医療機器開発

医薬品・医療機器の開発基盤研究への集中投入

- 例)・臨床研究・実用化研究
- ・がん・精神神経疾患・難病等の重大／希少疾病
- ・新たな技術(テーラーメイド医療、再生医療等)

国内の橋渡し研究・
臨床研究体制の整備

再生医療の推進

ベンチャー企業の
育成

など



○イノベーション25

○新健康フロンティア

○5か年戦略等

に基づき施策を推進

**厚生労働科学研究
を推進し研究成果を
社会・国民に還元**

「平成20年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針」を踏まえた厚生労働省の取組み

資源配分の方針のポイント



戦略重点科学技術に該当する科学技術の推進

- ・ 厚労省の各事業と戦略重点科学技術との関係を明確化し、資源の重点配分等を目指す
- ・ 連携施策群を通じた各省連携の推進及び俯瞰図作成への貢献

<戦略重点科学技術の例>

(ライフサイエンス分野)

- ・ 臨床研究・臨床への橋渡し研究
- ・ 標的治療等の革新的がん医療技術
- ・ 新興・再興感染症克服科学技術
- ・ 国際競争力を向上させる安全な食料の生産・供給科学技術
- ・ 世界最高水準のライフサイエンス基盤整備

(環境分野)

- ・ 新規の物質・技術に対する予見的リスク評価管理

(ナノテク・材料分野)

- ・ 超早期診断と低侵襲治療の実現と一体化を目指す先端ナノバイオ・医療技術

分野別推進戦略に対するフォローアップ

- ・ 分野別推進戦略に設定された研究開発目標や成果目標との関係につき、H20年度概算要求前評価で確認

社会還元加速プロジェクトの推進

- ・ 失われた人体機能を補助・再生する医療の実現
- ・ 高齢者・有病者・障害者への先進的な在宅医療・介護の実現

科学技術外交の強化

- ・ 人の生命・健康の維持等の課題に対する科学技術協力の強化
- ・ 科学技術協力ネットワークの強化

制度に関する検討

- 競争的研究資金制度への取組み
- ・ 研究資金WG報告書を踏まえたFA化の検討
- ・ 不正経理への対応
- ・ 早期執行の取り組み 等